



さけの子

大船渡水産振興センター「復興板」

令和元年5月31日発行 第15号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

平成31年4月30日現在の管内県営漁港関係施設災害復旧工事の進捗率は、80%となっています。
(平成31年4月30日現在)

	災害査定 (H30再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	242	32,244,006	240	32,552,576	32,479,310	95	229
漁港海岸	11	34,117,361	11	27,164,565	22,058,175	65	3
漁場	2	498,880	2	498,881	498,880	100	2
合計	255	68,860,247	253	60,216,022	55,036,365	80	234

・ さっちゃんNEWS part 1

<アワビ種苗初出荷>

大船渡市末崎町門之浜にある(一社)岩手県栽培漁業協会では、5月24日(木)に船越湾漁協に8万個の種苗を初出荷しました。

今回出荷した種苗は、4~5月に採苗し殻長平均25mmに成長したもので、これから9月下旬までの間に合計400万個ほどの種苗が県内20漁協に出荷されます。



<養殖コンブの刈取りが始まっています>

5月上旬から、養殖コンブの刈取りが始まり、浜では塩蔵コンブの湯通し作業が行われています。

大船渡管内では、綾里漁協、大船渡市漁協、広田湾漁協が上場し、5月30日現在の上場数は121トンで、昨年同期より22トン多い数量となっています。

5月中旬の時化以降は順調に水揚げが進んでおり、作業終了は6月下旬頃となる見込みです。



ポイル作業



ポイルされたコンブ(塩蔵前)



★★★_スマイル130 (いちさんまる) プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔を(県外、世界に)届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の気持ちを盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

(1) 共同利用施設等の復旧状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。
平成32年度に巻揚機1件の整備が予定されています。

(2) 大船渡市魚市場の水揚げ状況（平成31年1月1日から4月末累計）

平成31年		平成30年		震災前 (H20～H22の平均)		前年比 (H30/H29)		震災前（H20～ H22の平均）との 対比	
数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
8,552	729,159	9,678	1,115,415	9,782	702,370	88	65	87	104

出典：いわて大漁ナビ

平成31年1月から4月までの大船渡市魚市場の水揚げ量は8,552トンで、昨年の約9割、震災前の約9割でした。主な水揚げ魚種は、イサダ(5,590トン、2億8千万円)、マイワシ(1,415トン、9千万円)、サバ類(773トン、6千8百万円)などでした。なお、5月上旬からサバ類が定置網で好漁となっており、サバ類の5月の水揚げ量は、5月29日現在3,518トンとなっています。

・ さっちゃんNEWS part2

<三陸復興プロジェクトが6月1日に開幕します>

6月1日から8月7日までの68日間、「三陸防災復興プロジェクト2019」が開催されます。このプロジェクトは、復興に力強く取り組んでいる地域の姿を発信し、東日本大震災津波の風化を防ぐとともに、東日本大震災津波の教訓を伝え、日本国内や世界の防災力向上にも貢献していく防災復興行事として実施するものです。

その一環として、三陸の食文化を発信するために、「いわてHAMA-MESH I プロジェクト」を実施します。登録された店舗が会期中に特別メニューを提供するもので、大船渡管内では32店舗が、ホタテ、ワカメ、サンマなどの水産物を中心とした料理を提供します。スタンプラリーも実施されますので、ぜひご参加ください。



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部
大船渡水産振興センター〔担当 宮田〕
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229
E-mail:BG0004@pref.iwate.jp